

評 価 書

平成24年11月
宮 城 県

平成24年度に行った公共事業再評価の結果は、以下のとおりである。

記

- 1 対象事業名
川内沢ダム建設事業
- 2 事業の概要
別紙のとおり
- 3 県民生活及び社会経済に対する効果並びに把握方法
「事業の進捗状況」、「事業を取り巻く社会経済情勢等の変化」、「代替案との比較」、「コスト縮減」、「費用対効果」の項目で事業効果を把握した。
- 4 評価の経過
平成24年 9月12日 「行政活動の評価に関する条例」第8条の規定により行政評価委員会に諮問
平成24年 9月12日 同条例第9条に基づく県民意見聴取
～平成24年10月11日
平成24年 9月12日 宮城県行政評価委員会公共事業評価部会（第1回）開催
平成24年10月18日 宮城県行政評価委員会公共事業評価部会（第2回）開催
平成24年11月 7日 宮城県行政評価委員会及び同公共事業評価部会より答申
- 5 行政評価委員会の意見
「事業継続」とした県の評価に対し、妥当とした。
審議対象事業の実施に関する意見は、次のとおり

〔川内沢ダム建設事業〕

今後の設計、建設に当たっては、ダムの構造、規模などについて総合的な検討を行い、治水、利水効果の早期発現を図るとともに、コスト縮減に努めること。

また、東北地方太平洋沖地震による地盤沈下等の影響も考慮し、湛水被害の軽減に向け関係機関との調整を十分に行うこと。

6 評価の結果

川内沢ダム建設事業を継続する。

評価の結果の詳細は、別添1のとおり
なお、事業の実施に関する意見に対しては、以下のとおり対応する。

〔川内沢ダム建設事業〕

今後の設計、建設を進めるに当たっては、ダムの位置、規模、構造形式及び付替道路計画等について総合的な検討を行い、川内沢川沿川の洪水防御による治水効果や、既得取水の安定化及び河川環境の保全による利水効果の早期発現を図るとともに、コスト縮減に努める。

また、東北地方太平洋沖地震による地盤沈下等の影響により、洪水被害リスクが高まっていることから、川内沢川沿川の湛水被害の軽減に向け、国、市をはじめ県関係部局や関係団体等とも連携し、円滑に事業推進が図られるよう調整を行う。

事業概要一覧

事業種別	事業名	事業実施箇所	事業採択年度	完成予定年度	事業目的・事業概要	全体事業費(億円)	進捗率(%)
ダム	川内沢ダム建設事業	名取市	H9	H32	川内沢川沿川の洪水防御，既得取水の安定化及び河川環境の保全を図るもの。 重力式コンクリートダム ダム高H=37.0m 堤体積V=44,000m ³	80.0	3.5